

音楽科 小学校第6学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	オリエンテーション ・つばさをください	A(1)アイウエ	2		小学校第5学年 「学年の歌」 ・ビリーヴ	○年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	中学校第1学年	■年間を通して愛唱していく歌唱教材とする。
5	楽譜を読もう ・明日という大地	A(1)アイ	4 (+2)	・読譜の力をつけていかなければならない。ハ長調とイ短調の楽譜を見て階名で読んだり、強弱記号をつかんだりする力をつけていかなければならない。	「楽譜を読もう」 ・赤い屋根の家 ・一輪の赤い花	○ハ長調の楽曲の感じをつかんで、音程やリズム、速度、強弱に気をつけ、五感や旋律の特徴を生かして、歌い方を工夫する。	「旋律のまとまりと構成」 ・確認しよう。覚えているかな？	■強弱の変化や適切な速度など意見交換しながら歌い方を工夫する。
6	こころのうた ・おぼろ月夜	A(1)アイウエ	1		「こころのうた」 ・こいのぼり	○曲のまとまりや強さに気をつけて歌ったり、楽譜を見ながら階名で歌ったりする。	「詩と音楽との関わり」 ・赤とんぼ	■情景を想像してのびのびと歌う。
7	いろいろな響きを味わおう ・星空はいつも ・ラバースコンチェルト ・歓喜	A(1)アイウエ (2)アイエ A(2)アイウエ B(1)アイ	8		「いろいろな響きを味わおう」 ・いつでもあゝの海は ・リボンのおどり ・双頭のわしの旗の下に ・アイネクライネナハトムジーク 第1楽章	○歌声や楽器が重なり合う響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりする。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気をつけ、音の組合せを工夫して演奏する。	「ハーモニーの美しさ楽しさ」 ・エーデルワイス ・アルトリコーダーLesson 1	■合奏や合唱に生かせる工夫について気づいたことを話し合う。
	こころのうた ・われは海の子	A(1)アイウ	1		「こころのうた」 ・こいのぼり	○旋律や音の動き、リズムの特徴を感じ取って歌う。	「詩と音楽との関わり」 ・赤とんぼ	■情景を想像して表情豊かに歌う。
9	和音の美しさを味わおう ・こげよマイケル ・燃え上がれ！	A(1)アエ (2)アエ A(1)アエ (2)アエ	8		「和音の美しさを味わおう」 ・静かに眠れ ・それは地球 ・威風堂々第1番	○イ短調の和音の響きを感じながら、曲の特徴をとらえて歌おうとする。 ○旋律の特徴や和音の響きを感じ取って歌ったり、聴きあったりする。 ○曲想の変化や和音の美しさを味わって聴く。	「ハーモニーの美しさ楽しさ」 ・エーデルワイス ・アルトリコーダーLesson 1	■和音の響きや美しさを感じ取って、友達の声や音と調和させて合唱や合奏をする。
10	星の世界 ・野ばら コラール	A(1)アイウエ B(1)アイウ						
	こころのうた ・ふるさと	A(1)アイウエ	2		「こころのうた」 ・子もり歌	○範唱を聞いて曲の感じをつかみ曲想を生かした歌い方を工夫する。 ○2つの旋律を歌い比べ、感じのちがいを生かして歌う。	「詩と音楽との関わり」 ・浜辺の歌	■日本の旋律の特徴を感じ取る。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
1 1	曲想を味わおう ・広い空の下で ・木星 ・風を切って	A(1)アイエ B(1)アイウ A(2)アイウエ	8	曲想を味わおう ・だれかが口笛吹いた ・ハンガリー舞曲第5番 ・リズムアンサンブル ・キリマンジャロ	「曲想を味わおう」 ・だれかが口笛ふいた ・ハンガリー舞曲第5番 ・リズムアンサンブル ・キリマンジャロ	○旋律の特徴を調べ、曲想の変化を生かして表現を工夫して歌う。 ○旋律の強弱の変化、速度、重なり合う響きなどに気をつけて、各パートの役割にふさわしい表現で歌ったり、楽器を演奏したりする。	「情景と音楽との関わり」 ・春 第一楽章	■各パートの役割を話し合い、音量のバランスに気をつける。
1 2	詩と音楽を味わおう ・箱根八里 花 ・思い出のメロディー	B(1)アイウ	4		「日本の音楽に親しもう」 ・待ちぼうけ	○詩と音楽が一体となって生み出される日本の楽曲の美しさを味わうようにする。	「言葉と歌声との関わり」 ・日本の民謡	■作曲者の重いを考え、言葉のまとまりや五感を生かした歌い方を工夫する。
1	こころのうた ・越天楽今様	A(1)アイウエ A(2)アイウエ	1		「こころのうた」 ・冬げしき ・スキーの歌	○日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌う。	「日本の伝統音楽」 ・六段の調 ・巢鶴鈴慕	■雅楽の楽器の音色や、繰り返しの特徴などを感じ取って聴く。
2	日本と世界の音楽に親しもう ・世界の国々の音楽 ・アンデスの祭り ・リズムアンサンブル	B(1)アウ A(1)アイエ (2)アイエ A(2)イウエ (3)アイ	5		「日本と世界の音楽に親しもう」 ・春の海 ・世界の国々の音楽 ・アリラン、まつり花	○世界の国々の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や諸外国の音楽に親しむ。 ○世界の国々の音楽の良さや楽器の響きの美しさを味わいながら聴いたり、その雰囲気を生かして表現したりする。	「アジアの音楽の魅力を探る」 ・アジアの諸民族の音楽	■世界の国々の音楽を聴いてイメージを膨らませる。
3	音楽の美しさを味わおう ・さよなら友よ ・メヌエット ・旅立ちの日に	A(1)アイウエ A(2)アイウエ A(1)アイウエ	6		「音楽の美しさを味わおう」 ・大空が迎える朝 ・失われた歌 ・世界が一つになるまで ・つばさをだいて	○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する喜びを味わいながら、心をこめて表現する。	「混声合唱へのステップ」 ・パフ ・朝の風に	■歌詞の発音に気をつけ、互いのパートを聴きあいながら、表情豊かに合唱する。
			50					